



「自立・貢献」目標を持って挑む！人のために動く！を実践

大平歩・水野友佳・土屋麻衣・杉山美幸・赤堀弘実・中埜英・加藤拓真

藍川東中学校は昭和 40 年代に大規模開発された団地内にあり、かつての生徒数は全校 1000 名近くのマンモス校でしたが、現在では 200 名弱となっています。逆に「スーパーシニア」と呼ばれる高齢者の方が多くなり、中学生と高齢者との協働なくては地域の活動を支えることができなくなっています。

生徒のボランティアで支える地域活動



藍川東中学校は芥見東小学校との一小一中であり、生徒たちは小さいころから地域の方々にお世話になっています。私たち PTA もまちづくり協議会に参加し、地域と学校の橋渡しの役割を果たしながら、生徒たちの活動を支援しています。

高齢者の増加により、地域の様々な活動に若い中学生たちの力が必要とされています。まちづくり協議会からは夏祭りや市民運動会の準備、コミュニティバス「みどりっこバス」のヘルパーボランティア、ゴールデンウィークの鯉のぼりボランティアなど、多くの依頼があります。ボランティアへの呼び掛けに対して生徒たちは続々と参加を表明します。要請数を超えてしまうこともしばしばで、この生徒の姿に保護者としても大変頼もしく感じています。

小さいころからお世話になっている地域の方々の活動にこうした形で貢献できることができ、まさに学校の教育目標「自立・貢献」の具現の場となっています。地域の方からも「ありがとう」と言葉をもらえ、自己有用感を感じられる貴重な場となっています。



また、地域の方々からは総合的な学習の時間や地域ふれあい活動の講師として、生徒に多くの学びを提供していただいています。地域の方からは「生徒たちが素直で積極的で好感が持てた」「真剣な取り組みで楽しい時間を過ごせた」と感想をいただき、こうした連携が双方にとってとても良い効果をあげていると思います。

生徒のボランティアを支える PTA 活動

毎年、芥見東小 3 年生と藍川東中 2 年生の子どもたちが共同で地域を流れる山田川の清掃を行っていますが、事前に PTA 役員が地域の方と周囲の草刈りやごみの除去などを行い、スムーズに開催できるよう協力しています。また、夏祭りなどでは模擬店出店に協力し、生徒たちの活躍の場を見守っています。

私たち PTA は将来を担う生徒たちが地域で活躍できる場を今後も支えていきたいと考えています。

